

Market Report

2024年7月号



インドネシアのパーム油生産量及び価格見通し

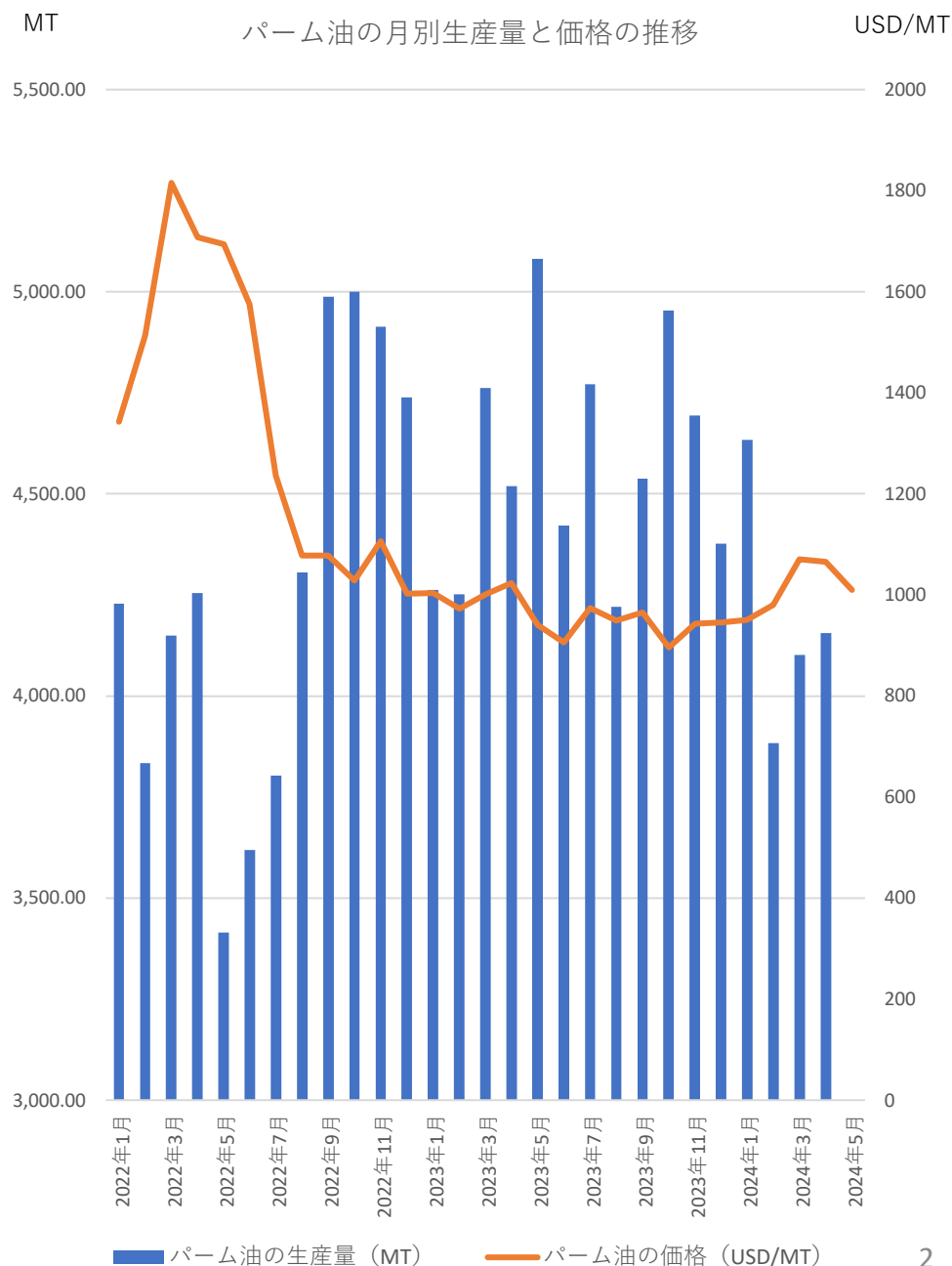
1. 実績

2024年5月のインドネシア国内のFFBの最高価格は、南スマトラ州で2,942Rp/kg、最低価格は南カリマンタン州で、2,423Rp/kgであった。

CPOの平均価格は2024年4月の12,576 Rp/kgと比較して2024年5月は12,207 Rp/kgとなり、368 Rp/kg（前月比で約3%）下落した。また、2023年5月のCPO平均価格10,373 Rp/kgと比較すると、1,834 Rp/kg（前年比で約15%）上昇した。

2. 見通し

7月中は乾季のピークであり、収穫量が増加することが予想されるため、8月のFFBとCPOの生産量が増加すると推定される。その結果、現在上昇していたCPO価格が、8月に入ると価格が下落に転じると見込まれる。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. 実績

2024年5月のインドネシアのPKS輸出量は、326,814トンとなり、4月の輸出量272,878トンと比較すると53,936トン（前月比で約20%）の増加となった。前年2023年5月のPKS輸出量390,164トンと比較すると、2024年5月の輸出量は63,350トン（前年比で約16%）減少した。2024年5月のPKS輸出額はUSD39,343,121を記録した。

2024年5月最大の輸出先は日本であり、輸出量は305,244トン、外貨換算額は37,029,058 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約90%を占める）日本への輸出量が4月の輸出量248,138トンと比較すると57,106トン（前月比で約23%）の増加となった。

2. 見通し

7月が乾季のピークであることから、8月もFFBとCPOの生産量が増加し、PKSの発生量も増加すると推定される。また、供給量の増加に伴い価格は減少すると考えられる。

